

農場長より

本年度農場長を務めます、星 久一郎です。よろしくお願いします。
 耶麻農業高校の農場は、学級数の規模からすると県内の農業高校で一番の農場面積と農場生産の規模を有する学校です。約10haの農場での実習は、作物・畜産・野菜・草花の4部門でそれぞれ行っております。
 専門科目には実習が主体の科目「総合実習」があります。この授業は、それぞれの部門の実習をローテーションで行っており、農業実習全般を学習します。
 それ以外に2・3年生では、科目「課題研究」を学習します。専攻別に4部門に分かれて取り組んでいます。各自がテーマを持って取り組み、研究成果をまとめて3学期に研究発表を行います。19年度は畜産部門が研究発表の学校代表として県大会に出場します。
 今号では、今年度の各部門の担当者の紹介と計画をお知らせします。

作物部門

作物部門は今年度、水稻（コシヒカリ）3.3ha・サツマイモ5a・ソバ3.1haの作付けを予定しています。
 3年の専攻生は、サツマイモの品種別に生育調査を予定しています。昨年からの継続で行っている研究であり、生徒は意欲的に取り組んでいます。2年生の課題研究は今年からですが、千咲の広々とした環境での水稻栽培に関心が高い専攻生であり、研究内容も生育調査・植付密度別の収量調査を予定しており、当地域における最適な植栽方法の試験をしてみたいと進めていきます。
 また今年度は、喜多方市の小学校農業教育特区に協力し、熱塩小学校へ出向いて小学生を対象に、「生徒が先生」として作物栽培指導をするなどの計画があります。



星 久一郎 相良 勇紀

畜産部門

今年度の活動計画について説明します。
 生産関係では、仔牛1頭・肥育牛5頭を出荷し、5月と9月に仔牛が生まれる予定です。育成中の仔牛は、7月に出荷予定です。
 また、肥育牛は1昨年度購入した九州産の5頭が出荷を迎えます。どのような結果になるのか楽しみです。最高ランクのA5等級をめざし頑張っています。
 次にプロジェクト学習については、3年生は昨年に引き続き「**「耶麻農牛のブランド化をめざして」**～本県産と九州産の増体量の違いについて～**」**というテーマで1年間調査・研究を行います。2年生は、5月14日に生まれる予定の仔牛を題材に調査をしていきたいと考えています。そして、3学期に行われる校内研究発表大会で良い成績が残せるよう指導していきたいと思ひます。



佐藤 壽英 湯田 栄

野菜部門

今年度の野菜部門は、ナス・キュウリ・ピーマン・シシトウ・オクラ・トウモロコシ・トマト・スイカ・メロン・カボチャ等を作付予定です。
 現在までの苗の生育状況は、例年通り順調です。今後収穫作業・販売実習と暑さに負けることなく、生徒と共に頑張っていきたいと思ひます。
 プロジェクト学習では、3年生は、昨年に続き「**海洋深層水・ケイ酸・木酢液散布が生育に及ぼす影響について**」をテーマに調査・研究に取り組んでいます。2年生は、「**作物の基本的栽培技術及び優品率を向上させるための栽培方法**」について調査しています。おいしい野菜が作れると思ひますが、どうなるでしょうか楽しみます。



大竹 寿 金澤 芳明 柏木 萌子

響について」をテーマに調査・研究に取り組んでいます。
 2年生は、「作物の基本的栽培技術及び優品率を向上させるための栽培方法」について調査しています。おいしい野菜が作れると思ひますが、どうなるでしょうか楽しみます。

草花部門

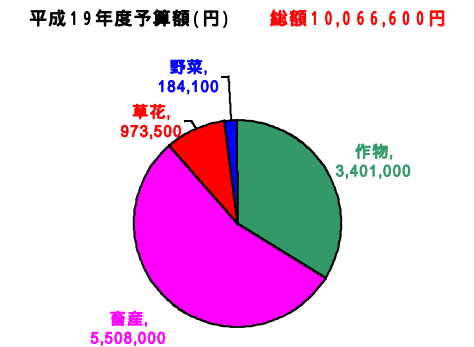
今年度の生産計画を説明します。花壇用の苗が約4,000ポット生産。鉢物の代表シクラメンが300鉢。その他の鉢物（カンナ、キク、プリムラ類、シネリアなど）が1,200鉢の生産となります。
 次にプロジェクト学習は、2年生が「シクラメンの生育調査」、3年生が今まで研究してきたことを踏まえてシクラメンを題材に「**底土の違いが生育に及ぼす影響**」と決めました。
 ただいま温室の中は、花壇用の苗の生産と5月の中旬に売り出す予定の「カンナ」が温室を占領しています。花壇用苗（サルビア赤・青、マリーゴールド、ペチュニア、ペゴニア）は予約受付中！



小林 好次 大竹 義喜

農場会計

昨年度は、9月に肥育牛が心不全で突然死亡してしまい予算額を超えるのは難しい状況でしたが、米・ソバの豊作等で当初予算額1,082万9千円に対し1,300万円と120%の売上高となり、200万円を超えるプラス計上となりました。
 この様な長年の努力がみのり、昨年6月に新車のトラックが購入されました。
 本年度も農場の教育環境向上のため、さらに努力していきたいと思ひます。なお、各部門の実習会計予算額は、右の円グラフのとおりです。



農業クラブより

今年の農業クラブは、「多くの大会(種目)に参加しよう」というスローガンを掲げて日々活動しています。昨年度は、農業鑑定競技において2名の全国大会出場をはじめ、数多くのクラブ員が県大会・東北大会へと出場しました。今年度も昨年度を超える人数が県大会はじめ上位大会に出場できるように指導していきたいと思ひます。
 また、日頃からお世話になっている地域住民の皆様へ感謝の意を込めて、農業クラブ執行部が中心となり通学路の清掃活動を毎月一回行っていく予定です。
 各種大会での生徒達の活躍は、その都度報告したいと思ひますので楽しみにお待ち下さい。
 最後になりましたが、産業技術科の生徒は全員が農業クラブ員です。保護者の皆様のご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

昨年度の県大会結果

大会名	参加者数	優秀賞者数	備考
家畜審査競技	8名	4名	肉用牛の部1名優秀1席
農業鑑定競技	4名	3名	全国大会2名出場
情報処理競技	2名	1名	
意見研究発表	4名	1名	